

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 知床国立公園

所在地: 北海道斜里郡斜里町 網走南部森林管理署国有林1322林班は小班付近

土壌種名: 適潤性褐色森林土

調査実施日: 平成27年8月17~18日

機関名: 北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場

報告者名: 長坂有 長坂晶子 石濱宣夫

個体番号	N87	N88	N3	N11	N12	E34	E27	E31	E33	E19	S49	S50	S51	S60	S61	W73	W72	W74	W57	W69
(毎木調査番号)	白	赤	白	赤	白	白	白	赤	赤	黄	赤	赤	白	白	白	白	白	白	赤	赤
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	アカトドマツ	アカトドマツ	ミズナラ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンバ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンバ	ダケカンバ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンバ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ
樹種名 (学名)	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>
相対的樹高	Null		+	+		Null	+	+				+		Null	+					
樹高 (m)		14.8	16.9	18.1	14.5		15.7	17.0	15.1	15.3	14.2	17.5	17.6		17.6	17.2	17.5	17.9	18.8	14.9
胸高直径 (cm)		29.6	84.7	46.8	30.0		45.2	68.5	29.3	33.2	43.0	58.5	64.8		45.0	40.0	31.8	47.9	40.5	26.4
樹勢	H25年調査で枯死を確認					H25年調査で枯死を確認								H25年調査で枯死を確認						
樹形		1							2		1				3	1	1			
枝の生長量										1	1									
梢端の枯損															4					
落葉率									1								1			
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況															3					
ダメージクラス																2				

枯死前年の樹高 (m)	13.8					17.3								18.5						
直径 (cm)	22.1					46.9								58.7						
調査年度	H24					H24								H25						

樹木衰退の原因推定

- 88: ミズナラによる被圧, 2004年台風18号による梢端折れが過去に発生
- 11: 過去の昆虫 (食葉性) による食害と樹高の低下
- 12: 3のミズナラの被圧
- 27: 梢端が二股
- 31: 根際の一部の樹皮が剥がれて辺材部が腐朽, 梢端近くに枯枝が一本ある
- 3: 根際の一部の樹皮が剥がれて辺材部が腐朽
- 33: 2004年台風18号による梢端折れが過去に発生, 掛かり木による曲がり, 古傷からヤニ, 31のダケカンバによる被圧
- 19: 31のダケカンバによる被圧
- 49: 2004年台風18号により大枝折れが過去に発生, 太い枯枝あり
- 61: 上部2/3の葉が赤褐色に変色, 急激に衰弱 (原因は不明)
- 72: 73のダケカンバとの競合, 枯枝やや多
- 73: 72のアカトドマツとの競合
- 74: アカトドマツ溝腐病発生, 他に凍裂・モミサルノコシカケあり, 枯枝やや多

備考

網掛け部は枯死が確認された観察木を示す  
 枯死時の大きさの参考のため, 枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 支笏洞爺国立公園

所在地: 北海道札幌市南区 定山溪トンネル付近2090林班ほ小班付近

土壌種名: 暗色系褐色森林土

調査実施日: 平成27年9月8~9日

機関名: 北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場

報告者名: 石濱宣夫 竹内史郎

個体番号	S122	S123	S124	E114	E112	E116	W125	W126	W127	W129	W131	N107	N105	N106	N553	N554	S556	E555
(毎木調査番号)																		
方位 (E, W, S, or N)	S	S	S	E	E	E	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	S	E
樹種名 (和名)	ダケカンパ	ナナカマド	キハダ	ダケカンパ	イタヤカエデ	エゾマツ	ダケカンパ	ナナカマド	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	イタヤカエデ	ダケカンパ	イタヤカエデ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ
樹種名 (学名)	<i>Betula ermani</i>	<i>Sorbus commixta</i>	<i>Phellodendron amurense</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Picea jezoensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Sorbus commixta</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>
相対的樹高				+			+	Null						Null	+			
樹高 (m)	22.2	19.9	19.8	27.4	18.9	24.3	24.3		25.6	23.1	26.9	14.8	17.0			21.3	23.7	22.8
胸高直径 (cm)	38.6	35.3	34.2	62.9	33.0	54.7	73.0		39.0	36.1	30.2	45.5	22.9			68.8	33.9	57.0
樹勢		1	1									2				2		
樹形		1					1					2						
枝の生長量		1	1	1	1		1					1				1		1
梢端の枯損							1											
落葉率		1	1													2		1
葉の変形度												1						
葉の大きさ																1		
葉色	1																	
葉の障害状況																		
ダメージクラス																		

枯死前年の樹高 (m)								15.2						15.5				
直径 (cm)								29.8						41.0				
調査年度								H15						H24				

- 樹木衰退の原因推定
- 107: 幹が部分的に枯れ, 食葉性昆虫被害あり
  - 112: 枝枯れ少しあり
  - 114: つる (ツルアジサイ, ツタウルシ) 多し
  - 123: 老齡過熟木であり, やや被圧されて小枝の枯れがやや多い
  - 124: 枝枯れ多い
  - 125: 老齡過熟木であり, 枝枯れ少しあり
  - 553: 枝枯れやや多い
  - 122: 食葉性昆虫被害が多少あり, 葉色の変化がわずかに見られた (樹勢には影響せず)

備考

林分全体として2004年の台風18号による梢端折れの後遺症から回復したようである  
 立木密度が低いため, 大円外に553~556の4本の観察木を新たに追加設定した  
 網掛け部は枯死が確認された観察木を示す  
 枯死時の大きさの参考のため, 枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 十和田八幡平国立公園

所在地: 岩手県八幡平市 八幡平山国有林10林班ろ小班及び12林班ろ小班

土壌種名: 湿性ポドソル化土壌

調査実施日: 平成27年7月13日

機関名: 岩手県環境保健研究センター

報告者名: 多田敬子

個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7-1	8	9	10-1	11	12	13	14	15	16	17	18-1	18-2	19	19-1	20
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	S
樹種名 (和名)	オオシラビソ																					
樹種名 (学名)	<i>Abies mariesii</i>																					
相対的樹高	-						+				+	+						Dead	-	Dead	-	-
樹高 (m)	6.5	10.0	9.5	10.0	8.5	11.0	14.0	8.5	9.5	2.5	13.0	12.0	9.0	8.8	13.0	3.0	4.0		6.1		4.2	2.7
胸高直径 (cm)	24.0	33.5	25.5	33.0	22.5	38.0	34.0	23.5	30.0	11.0	34.0	30.0	19.0	20.0	35.0	15.0	23.0		35.0		19.0	10.0
樹勢	2			2	1	1			2		1		1	1	1	2	2		H27年調査で枯死を確認		H27年調査で枯死を確認	1
樹形	2			3	1	1			1					1	1	1	2					1
枝の生長量	1			1	1				1							1	1					1
梢端の枯損	1			1	1	1					1											
落葉率	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	2	1	1					1
葉の変形度																						
葉の大きさ	1			1																		
葉色															1	1						
葉の障害状況				1																		
ダメージクラス	1	1		1	1	1	1	1	1		1		1	1	2	1	1					1
枯死前年の樹高 (m)																		4.7		1.5		
直径 (cm)																		18.4		7.6		
調査年度																		H26		H26		

樹木衰退の原因推定 凍害・寒風害・雪害の影響。また、樹齢による世代交代も一部考えられる

備考

10 (H21年枯死)、18-1及び19 は倒木により、代替木を10-1、18-2、19-1とする

網掛け部は枯死が確認された観察木を示す

枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 磐梯朝日国立公園

所在地: 新潟県村上三山 三面山国有林1163林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成27年9月17日

機関名: (1) 新潟県森林研究所 (2) 新潟県保健環境科学研究所

報告者名: (1) 武田宏 (2) 柳原和貴

個体番号	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E2	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W2	W3	W4	W5
(毎木調査番号)		47	48	49	50						16	51	27	28	29					
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	フナ																			
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>																			
相対的樹高		-	-				-	+		-		-	-					-	+	
樹高 (m)	33.0	28.7	25.2	29.7	30.5	29.9	30.1	31.3	29.1	28.4	24.5	23.8	20.2	26.7	21.9	28.0	30.4	22.8	33.2	29.8
胸高直径 (cm)	92.4	66.3	46.0	54.4	67.8	58.9	42.8	84.2	72.2	68.8	74.4	45.5	46.1	40.0	67.8	60.2	56.3	51.5	80.6	65.8
樹勢													2						3	
樹形			1				1						2	1	1	1	2	3		
枝の生長量													1							
梢端の枯損													1					3		
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 N3, E2, S4, S5は雪害や風害による枝折れ, S3はフジがからんで樹勢を弱らせている  
W3は新たな風害による主軸折れ, W2, W3はW3の主軸が倒れたことによる枝折れ

備考

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 日光国立公園

所在地: 栃木県日光市狸窪

土壌種名: 褐色森林土・日光2統

調査実施日: 平成26年9月26日

機関名: 栃木県林業センター

報告者名: 井上歩

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	284	301	302	303	304	281	333	295	298	299	288	289	290	291	334	306	307	308	310	311
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	アオダモ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	オオイタヤメイギツ	カラジロモミ	ナナ	カラジロモミ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	アオダモ	ナナ	カラジロモミ	ナナ	ナナ
樹種名 (学名)	<i>Fraxinus lanuginosa</i> <i>f. serrata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Abies homolepis</i>		<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fraxinus lanuginosa</i> <i>f. serrata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>					
相対的樹高	-	-	+	-		+		+									+	-		
樹高 (m)	12.9	20.5	30.5	13.5	17.8	30.1	20.1	36.0	19.4	19.8	19.5	29.8	30.5	23.1	24.7	13.6	23.5	15.2	14.6	14.2
胸高直径 (cm)	18.9	26.3	67.2	19.9	31.6	84.4	20.6	54.5	29.2	43.3	21.1	34.8	36.3	30.1	30.1	35.7	42.5	19.6	24.8	29.7
樹勢	1	1	1																	1
樹形					1		1													1
枝の生長量																				
梢端の枯損	1	1	1															1	1	1
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 301, 302: 上木に被圧され、葉・枝の生長が阻害されているため  
310, 311: 表土の流出により、根が露出しているため

備考

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 中部山岳国立公園

所在地: 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂外11 国有林139の林小班美女平遊歩道付近

土壌種名: 湿性鉄型弱ポドゾル化土壌Pw(i)III

調査実施日: 平成27年8月21日

機関名: 富山県農林水産総合技術センター森林研究所

報告者名: 大宮徹

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(毎木調査番号)	468	469	475	476	474	471	470	467	465	466	464	473
方位 (E, W, S, or N)	NW	NW	E	NE	E	SW	SW	W	W	W	W	S
樹種名 (和名)	ブナ	ブナ	ホオノキ	ホオノキ	ホオノキ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ホオノキ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>					
相対的樹高	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	-
樹高 (m)	31.6	25.3	26.8	18.6	23.7	26.9	24.4	27.8	27.8	31.7	29.4	14.3
胸高直径 (cm)	77.4	56.5	62.6	55.2	55.0	76.4	61.9	65.7	57.8	80.5	59.3	21.9
樹勢			2		1							
樹形	1		2					1				
枝の生長量			1									
梢端の枯損			1									
落葉率												
葉の変形度												
葉の大きさ												
葉色												
葉の障害状況												
ダメージクラス												

樹木衰退の原因推定 3: 樹高は林冠に達しているが、相対的に枝が少なく、枯れ枝も目立ち、結果的に葉量も少ない。高さ8m付近でかつて主幹の交代があったらしく、幹が大きく屈曲している

備考

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 白山国立公園

所在地: 石川県白山市白峰 釈迦ヶ岳国有林39林班は小班

土壌種名: 湿性腐植型弱ポドゾル化土壌

調査実施日: 平成27年9月28日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 千木容

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	20	21	22
(毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	20	21	22
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名 (和名)	ミズナ	フナ	ミズナ	フナ	フナ	フナ	ミズナ	フナ	フナ	イタヤクスイゲツ	フナ	フナ	フナ	フナ	フナ	フナ	ハナチワカエデ	フナ	ミネカエデ	ハナチワカエデ
樹種名 (学名)	<i>Betula grossa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer japonicum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer tschonoskii</i>	<i>Acer japonicum</i>					
相対的樹高	-	+	-	+	+	+	-			-	-			-			-	+	-	-
樹高 (m)	8.2	26.1	13.6	25.3	26.0	25.6	17.0	24.9	20.1	12.3	21.0	23.6	21.0	24.0	24.9	18.0	8.9	30.0	12.3	7.7
胸高直径 (cm)	49.9	50.2	39.5	55.7	77.8	85.6	40.3	91.8	41.2	20.6	100.6	82.4	46.2	38.1	55.0	63.2	11.5	95.2	21.9	16.2
樹勢											1									
樹形	1		1				1				1			1		1				
枝の生長量			1				1			1							1			1
梢端の枯損											1									
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定

平成14年10月28~30日の着葉期に、まとまった降雪で冠雪害が多発し、太い枝が折れるなど樹冠の衰退が見られた  
 1, 16: 平成22年の豪雪により梢が折れた  
 16: 17の倒木が倒れかかっていたが、完全に倒れたので、幹が元に戻りE (東) の天空写真の状況が変わっている

備考

19の枯死にともない、21を代替として加えた (平成20年度)  
 17の枯死にともない、22を代替として加えた (平成25年度)

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 宝立山

所在地: 石川県輪島市町野町寺山黒峰11甲12-1及び12-2 町野県有林

土壌種名: 弱乾性赤色土

調査実施日: 平成27年9月8日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 千木容

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	95	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	95	12	13	14	15	16	17	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名 (和名)	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	マカサツ	ナナ	マカサツ	ナナ	ナナ										
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Pinus densiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>														
相対的樹高			+			+	-									-		-		+
樹高 (m)	18.4	17.6	20.9	15.1	17.8	19.4	12.4	15.8	17.4	17.9	16.3	15.9	17.7	15.3	15.2	11.1	17.2	13.6	17.8	19.8
胸高直径 (cm)	23.9	22.2	40.0	19.0	24.3	40.0	13.9	19.4	22.6	24.8	24.6	18.0	24.5	15.3	21.6	12.6	19.8	16.5	24.3	31.4
樹勢																				
樹形																				
枝の生長量							1									1		1		
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 8, 10, 19: ミズナラの枯死により枝葉が生長し、枝葉密度が回復傾向にある

7, 16: 周囲のブナによる被圧により樹高が低くなっている

備考

表E: 樹木衰退調査結果(EANET方式)

地点名: 石動山

所在地: 石川県鹿島郡中能登町石動山1-1 石動山県有林

土壌種名: 適潤性褐色森林土

調査実施日: 平成27年9月24日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 千木容

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	58	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	58	13	14	15	16	17	18	19	20
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名(和名)	フナ	ミズメ	イヌシデ	フナ	フナ	フナ	イヌシデ	アカシデ	ミズメ	イタヤカエデ	フナ	フナ	イタヤカエデ	フナ	フナ	フナ	ミズナラ	ヤマギク	フナ	フナ	フナ
樹種名(学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Carpinus ischonostiki</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus ischonostiki</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>Crispilla</i>	<i>Prunus japonica</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高	+	+		+				-				Dead	-								
樹高(m)	30.3	35.0	20.7	31.6	25.0	24.8	23.8	14.5	21.6	20.4	26.0		15.7	26.5	24.0	26.5	26.1	21.2	19.5	26.8	21.0
胸高直径(cm)	41.9	57.4	46.5	64.8	51.9	54.9	54.8	38.1	40.5	33.5	59.9		23.4	65.9	37.7	47.9	46.5	66.2	36.4	57.9	42.8
樹勢																					
樹形			1					1		1			1				1	1			
枝の生長量																					
梢端の枯損																					
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

枯死前年の樹高(m)												18.5									
直径(cm)												49.7									
調査年度												H26									

樹木衰退の原因推定 3, 17: 下枝の折損により樹形が乱れている

備考

12の枯死にともない、58のイタヤカエデに代替した(平成27年度)

方位E(東)は、低木による遮蔽があり、1年前とかなり様子が変わる

網掛け部は枯死が確認された観察木を示す

枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E:樹木衰退調査結果(EANET方式)

地点名:法道寺

所在地:大阪府堺市南区鉢ヶ峰397-3 法道寺所有林

土壌種名:黄色土

調査実施日:平成27年8月5日

機関名:地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名:辻野智之 山本優一

個体番号	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W2	W3	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E2	E3	E4	E5
(毎木調査番号)	74	77	106	132	105	8	100	129	125	95	93	117	88	131	91	84	51	53	113	112
方位(E, W, S, or N)	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E
樹種名(和名)	ツツジ																			
樹種名(学名)	<i>Castanopsis cuspidata</i>																			
相対的樹高	Null					Null		Null												
樹高(m)		18.1	11.9	12.8	15.8		16.9		16.3	19.2	19.3	17.7	14.6	17.7	20.9	15.6	13.5	15.7	21.8	16.5
胸高直径(cm)		21.9	24.7	23.3	31.0		40.6		37.7	33.0	37.7	41.7	25.5	31.8	32.5	35.7	29.5	43.2	30.8	48.5
樹勢	H26年調査で枯死を確認		1			H25年調査で枯死を確認	1		1				2				3			3
樹形		1	2	1			2		1				1				3			3
枝の生長量			1				1		1				2				3			3
梢端の枯損							1		1								4			4
落葉率									1								3			3
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

枯死前年の樹高(m)	9.9					7.7		14.5												
直径(cm)	17.4					27.9		33.5												
調査年度	H25					H24		H19												

樹木衰退の原因推定

- S1: 被圧により枯死
- S3: 樹勢回復傾向(葉量増加)
- W1: ひこばえによりかろうじて生育
- W3: 先折れにより枯死
- N3: 新たな枝の成長がほとんどない
- E2: 被圧により梢端枯損し幹吹き多数
- E5: 被圧により梢端枯損(E1等)

備考

網掛け部は枯死が確認された観察木を示す  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 天野山

所在地: 大阪府河内長野市天野町277-1 天野山府営林

土壌種名: 褐色森林土(黄色系)

調査実施日: 平成27年8月4日

機関名: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名: 辻野智之 山本優一

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W2	W3	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)	54	102	103	104	105	34	64	69	70	35	81	43	42	41	80	88	89	90	47	48
方位(E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名(和名)	ヒノキ																			
樹種名(学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																			
相対的樹高																				
樹高(m)	18.7	16.2	15.9	15.7	19.5	20.5	17.7	22.5	16.5	21.3	17.6	25.6	18.9	22.3	21.1	19.4	19.1	19.2	20.5	19.4
胸高直径(cm)	23.3	22.0	18.1	18.9	33.6	22.6	22.7	23.3	26.4	19.0	28.5	25.9	17.8	28.0	22.5	25.6	25.3	21.7	23.9	30.0
樹勢																				
樹形																				
枝の生長量																				
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定

備考

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 吉野熊野

所在地: 奈良県上北山村 大台ヶ原山七つ池付近

土壌種名: 乾性褐色森林土

調査実施日: 平成27年8月10~11日, 9月17~18日

機関名: 奈良県森林技術センター

報告者名: 若山学

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	21	24	28	29	30	2	3	47	49	52	36	41	42	43	44	6	10	14	16	17
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ブナ	ブナ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ブナ	ブナ	オオイタヤマゲツ	ヒノキ	ブナ	ウラジロモミ	ブナ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer Shirasawanum</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>					
相対的樹高	-	+	-	±	±	±	+	-	±	+	±	±	±	-	±	-	±	±	±	±
樹高 (m)	14.8	19.0	15.3	16.9	16.1	19.2	21.9	15.2	18.2	26.0	16.0	17.1	16.1	12.4	18.0	12.0	17.1	15.7	17.3	18.8
胸高直径 (cm)	23.9	49.0	26.2	30.4	40.2	47.1	41.0	29.6	40.7	51.2	31.4	42.0	27.2	22.1	47.4	36.6	40.4	42.6	39.3	41.5
樹勢		2				1		1				1				2		2		
樹形		2														2		2		
枝の生長量		1								1				1		1	1	1		
梢端の枯損		2		1		1	1	1	1	1		1			1	2	1	2		
落葉率		1																		
葉の変形度																			1	
葉の大きさ																				
葉色				1				1			1									
葉の障害状況								1												
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定

一部のウラジロモミは隣接木の被圧がみられる  
 一部のブナはブナハバチによる食害がみられた  
 一部のブナは強風による折損、及び折損部分からの腐朽の進行がみられた  
 一部のブナは隣接木の被圧、及び蔓性植物が樹形に影響しているものと考えられる  
 オオイタヤマゲツは病気による葉の変色がみられた

備考

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 大山隠岐

所在地: 鳥取県西伯郡大山町大字大山字大休 大山国有林地内

土壌種名: 黒色土

調査実施日: 平成27年7月29日、9月14日

機関名: 鳥取県農林総合研究所林業試験場

報告者名: 谷口公教

個体番号	1	2	3	4	5	7	8	9	12	13	14	15	16	17	18
(毎木調査番号)	C3	H10	H1	H7	H11	H3	H12	C26	H5	I 81	H2	H6	H9	M1	M2
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	W	W	S	S	N	S	N	S	S	N	W	W
樹種名 (和名)	ハウチワカエデ	コシヤナラ	ナラ	キハダ	ツツカエデ	ナラ	ナラ	ナラ	アズキナシ	ウヅミズザクラ	コミネカエデ	ナラ	ナラ	ナラ	ナラ
樹種名 (学名)	<i>Acer japonicum</i>	<i>Acanthopanax scidaphnoides</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Phellodendron amurense</i>	<i>Acer nipponicum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Sorbus alniifolia</i>	<i>Prunus grayana</i>	<i>Acer micranthum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高		-	+			+		+				+		+	
樹高 (m)	9.5	7.7	25.1	21.7	16.2	24.6	14.0	14.6	13.8	16.7	13.3	29.0	19.4	25.3	16.7
胸高直径 (cm)	26.2	21.1	84.0	31.8	21.9	53.8	38.1	46.5	28.3	30.5	25.8	61.2	49.0	82.6	54.8
樹勢	1	2								1					
樹形	1	1		1	1	1	1		1	2	2				
枝の生長量	2	2			1	1				2					
梢端の枯損															
落葉率															
葉の変形度															
葉の大きさ								1							
葉色															
葉の障害状況	1	1									1				
ダメージクラス															

樹木衰退の原因推定

- 1: 一部虫による葉の食害あり, 一部枯れ枝あり
- 2: 傾斜木, 一部枯れ枝あり, 虫による葉の食害あり
- 13: 一部枯れ枝あり
- 14: 幹の一部が折損している, 虫による葉の食害あり

備考

14~18: H27年度に新規追加

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 石鏡

所在地: 高知県吾川郡いの町 白猪谷山国有林253林班は小班及びへ小班

土壌種名: 適潤性褐色森林土 (偏乾亜型) B<sub>D(d)</sub>

調査実施日: 平成27年7月23-24日

機関名: 高知県立森林技術センター

報告者名: 深田英久

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	3-35	3-38	3-39	3-43	3-44	2-1	2-29	3-8	3-9	3-10	1-4	2-2	3-1	2-11	3-16	2-21	3-26	3-27	3-28	3-59
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ダケカンパシ	イタヤスミヂツ	ツナ	ツガ	イタヤスミヂツ	ツナ	ツナ	モミ	ツナ	ヒノキ	モミ	ウツクサ	ヒノキ	アオハダ	イタヤスミヂツ	ヒノキ	ウツクサ	ウツクサ	ミズナラ	ダケカンパシ
樹種名 (学名)	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Tsuga sieboldii</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies firma</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Abies firma</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Ilex macrospoda</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispilla</i>	<i>Betula ermani</i>
相対的樹高			+								+	-	+	-		+	-	-		
樹高 (m)	9.8	8.2	20.2	12.4	10.0	14.1	16.4	14.3	15.8	12.5	15.6	6.4	18.0	5.5	10.5	17.1	6.9	5.7	11.8	13.3
胸高直径 (cm)	17.8	11.5	64.2	46.9	29.4	49.2	44.9	35.6	41.7	30.7	41.7	12.3	54.8	7.8	30.4	63.6	14.0	12.4	56.1	30.0
樹勢																				
樹形				1						1										
枝の生長量																				
梢端の枯損													1							
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 4: ツガ特有の樹形の崩れによるものと推測される

10, 13: 風害によるものと推測される

備考

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 霜降岳

所在地: 山口県宇部市大字川上字男山755-95及び755-96

土壌種名: 黄色土

調査実施日: 平成27年7月29日

機関名: (1) 山口県環境保健センター環境科学部 (2) 山口県農林総合技術センター林業技術部

報告者名: (1) 大橋めぐみ 長田健太郎 竹内文乃 藤井翔 (2) 渡邊雅治 藤井史久 宗野俊平

個体番号	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5	N-1	N-2	N-3	N-4	N-5
(毎木調査番号)						中-24	中-14	中-20	中-34			小-339	中-53	大-1		中-98	大-3			
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	シヤンペンボ	ヒサカキ	クロキ	コナラ	ヒサカキ	コナラ	コナラ	ヒサカキ	カマノキ	ソヨゴ	ヒサカキ	シヤンペンボ	コナラ	コナラ	ヒサカキ	ヒサカキ	タノキ	ヤマザクラ	ヒメズイ	ソヨゴ
樹種名 (学名)	<i>Vaccinium bracteatum</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Symplocos lucida</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Actinodaphne lancifolia</i>	<i>Ilex pedunculosa</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Vaccinium bracteatum</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Prunus jamasakura</i>	<i>Euscaphis japonica</i>	<i>Ilex pedunculosa</i>
相対的樹高	±	±	+	+	-	±	Null	-	+	+	±	-	Null	+	+	±	+	+	±	-
樹高 (m)	7.4	7.0	7.5	11.1	5.5	8.6		5.5	10.0	9.7	5.6	6.1		12.0	7.0	7.0	14.0	12.5	6.5	6.0
胸高直径 (cm)	9.0	8.4	13.2	22.2	7.4	11.5		6.5	17.5	14.1	6.5	6.8		28.4	10.2	6.1	23.5	13.3	7.7	6.6
樹勢																				
樹形												1								
枝の生長量							枯死 平成20 年度						枯死 平成19 年度							
梢端の枯損			1		1															1
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				
枯死前年の樹高 (m)							7.8						8.7							
直径 (cm)							12.6						9.6							
調査年度							H19						H18							

樹木衰退の原因推定

備考

樹冠が鬱閉しているため、農業総合技術センターの指導により樹高の測定方法を超音波測高器(バーテックス)から測棒を用いた方法に変更  
網掛け部は枯死が確認された観察木を示す  
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 十種ヶ峰

所在地: 山口県山口市阿東嘉年下615番地1

土壌種名: 森林黒ボク土

調査実施日: 平成27年7月30日

機関名: (1) 山口県環境保健センター環境科学部 (2) 山口県農林総合技術センター林業技術部

報告者名: (1) 大橋めぐみ 長田健太郎 竹内文乃 藤井翔 (2) 渡邊雅治 藤井史久 宗野俊平

個体番号	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5	N-1	N-2	N-3	N-4	N-5
(毎木調査番号)	84	85	50	52	54	88	91	58	59	61	67	68	37-2	33	70	75	40	77	44	48
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	ヒノキ																			
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																			
相対的樹高																				
樹高 (m)	12.7	12.0	13.0	12.0	12.8	13.8	14.0	14.6	14.0	14.8	12.3	13.4	12.6	11.8	12.5	12.2	13.2	12.4	13.2	11.4
胸高直径 (cm)	27.4	23.4	32.0	21.3	28.0	25.3	26.7	25.6	29.2	29.0	28.0	28.4	26.4	25.4	26.5	22.3	26.8	26.8	22.6	20.2
樹勢																				
樹形				1																
枝の生長量																				
梢端の枯損																				
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 E-4: 回復済み

備考 E-3, S-2, S-3, W-3, W-5, N-2及びN-4: 平成19年12月の間伐による伐採のため、近隣の樹木を優先木として新たに選定 (平成20年) 樹高測定は超音波測高器 (パーテックス) で実施

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 香椎宮1

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 平成27年11月19日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一 石間妙子

個体番号	2-1	3-27	3-28	3-1	3-30	2-22	2-26	2-27	3-6	3-7	3-9	3-10	3-11	3-16	3-17	2-31	3-21	3-24	3-25	3-26	
(毎木調査番号)																					
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	
樹種名 (和名)	ヤマモモ	クスノキ	ホトトギス	クスノキ	イチイガシ	ハゼ	ヤマモモ	ヤマモモ	クスノキ	クスノキ	スズノイ	スズノイ	スズノイ	スズノイ	スズノイ	イチイガシ	ヤマモモ	スズノイ	スズノイ	スズノイ	
樹種名 (学名)	<i>Myrica rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>var. ellipticus</i>	<i>Quercus acutissima</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Rhus succedanea</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> <i>var. sieboldii</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> <i>var. sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> <i>var. sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> <i>var. sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> <i>var. sieboldii</i>				
相対的樹高		+								-											
樹高 (m)	14.0	19.0	15.3	15.6	15.6	14.7	13.7	13.7	16.2	10.2	12.9	12.3	12.3	13.0	14.0	18.0	13.5	18.0	18.0	18.0	
胸高直径 (cm)	29.5	64.9	41.2	33.0	27.2	33.8	41.7	46.4	81.2	29.5	41.9	34.3	43.7	34.1	31.5	46.4	38.7	42.6	54.2	48.4	
樹勢																					
樹形																					
枝の生長量																					
梢端の枯損	1			1			1	1		1	1						1				
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

樹木衰退の原因推定 2-1, 3-1, 2-26, 2-27, 3-7, 3-9, 3-21: いずれも隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損, ヤマモモに多く見られる, 生育状況に問題はないと考えられる

備考

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 香椎宮2

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 平成27年11月19日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一 石間妙子

個体番号	1-1	2-16	3-1	3-2	3-15	1-5	2-4	3-4	3-5	3-6	1-7	2-6	2-7	2-9	3-9	1-13	1-14	2-13	3-10	3-12
(毎木調査番号)																				
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	スズジイ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	クスノキ	クスノキ	イチイガシ	ヤマモモ	クスノキ	スズジイ	ナナミノキ	スズジイ	クスノキ	スズジイ	ヤブニツクイ	ナナミノキ	スズジイ	スズジイ
樹種名 (学名)	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Cinnamomum japonicum</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>					
相対的樹高																	Dead			
樹高 (m)	20.0	21.0	18.0	18.0	18.0	20.0	20.0	20.0	20.0	18.0	21.0	21.0	15.5	18.5	21.0	14.8		17.0	16.5	17.0
胸高直径 (cm)	68.2	80.6	68.0	49.5	56.0	45.8	38.3	49.4	53.1	45.8	50.3	75.3	32.5	59.2	49.9	75.7		40.9	35.2	46.8
樹勢						1										1			1	
樹形			1			1										2			2	
枝の生長量																				
梢端の枯損						1				1						1		1	2	1
落葉率																1			1	
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				
枯死前年の樹高 (m)																	16.5			
直径 (cm)																	30.8			
調査年度																	H26			

樹木衰退の原因推定 3-1: 強風による枝折れによる樹形の乱れ, 生育状況に問題はない  
 1-5: 強風による枝折れが影響  
 3-6, 2-13, 3-12: 隣接木の被圧, 生育状況に問題はない  
 1-13, 3-10: 木材腐朽菌による幹の腐朽が影響  
 1-14: 2015年8月に到来した台風による幹折れ, 枯死

備考 網掛け部は枯死が確認された観察木を示す  
 枯死時の大きさの参考のため, 枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 古処山1

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷(旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 平成27年11月26日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一 金子洋平

個体番号 (毎木調査番号)	2-1	2-3	2-24	3-1	3-23	2-7	2-8	3-3	3-5	3-7	3-8	3-10	3-11	3-12	3-13	1-97	3-15	3-17	3-18	3-19
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	タブノキ	シラカシ	シラカシ	イチノキ	タブノキ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	ネムノキ	スギ	スギ	スギ	スギ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ
樹種名(学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>				
相対的樹高			—																	
樹高(m)	16.5	22.0	15.0	18.0	16.0	19.0	17.5	16.5	19.5	20.0	16.0	21.0	21.0	15.0	21.0	20.0	18.0	14.0	18.5	16.5
胸高直径(cm)	35.2	35.7	26.7	24.8	28.1	29.2	24.8	22.5	31.0	37.9	26.3	37.5	47.3	20.7	52.8	34.6	52.5	26.8	38.9	30.0
樹勢																				1
樹形			1											1						
枝の生長量																				
梢端の枯損			1								1			1						1
落葉率																				1
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 2-24, 3-8, 3-12, 3-19: いずれも隣接木の被圧が影響している

備考 3-7, 3-11: キヅタ絡み  
1-97: テイカカズラ絡み

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 古処山2

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷(旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 平成27年11月26日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一 金子洋平

個体番号 (毎木調査番号)	1-10	1-182	2-2	2-3	2-9	1-32	1-46	3-5	3-8	3-11	1-42	1-76	1-95	2-21	3-13	1-133	1-150	2-36	2-37	3-23
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	タブノキ	ツチノコ	タブノキ	ツチノコ	ツチノコ	ツチノコ	クスノキ	シラカシ	シラカシ	ツクスネカシ	ツチノコ	ツチノコ	ツチノコ	シラカシ	シラカシ	ツチノコ	タブノキ	タブノキ	ツチノコ	ツチノコ
樹種名(学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>
相対的樹高		-																		
樹高(m)	16.5	16.5	16.0	16.0	16.0	17.0	16.0	18.5	18.5	16.5	17.0	16.5	14.5	18.0	18.0	16.5	16.0	16.5	15.5	17.5
胸高直径(cm)	34.4	16.7	18.5	27.7	26.3	33.2	24.9	26.0	25.7	23.8	36.6	21.9	36.8	40.1	28.3	34.2	25.0	24.0	13.2	40.5
樹勢																				
樹形																				1
枝の生長量																				
梢端の枯損		1																		
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 1-182, 2-37: 隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損, または若干の樹形の乱れ, 生育状況に問題はないと考えられる

備考

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 阿蘇くじゅう

所在地: 大分県竹田市久住町大字有氏大船山2994-1 56林班ケ小班

土壌種名: 黒ボク土

調査実施日: 平成27年8月18日

機関名: 大分県農林水産研究指導センター林業研究部

報告者名: 藤田 井上 松本 神川 村上

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	21	18	19	20
(毎木調査番号)	A-80	B-11	B-12	C-11	C-12	C-19	C-20	C-21	C-22	C-23	C-14	C-15	C-16	C-17	C-18	C-2	C-6	C-4	C-7	C-8
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ	クヌギ
樹種名 (学名)	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acanthopanax</i> <i>sciadoplysioides</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>
相対的樹高					-						+				+					
樹高 (m)	19.0	21.0	18.7	18.0	13.5	19.2	18.0	18.2	20.0	13.0	23.0	21.7	21.4	18.0	21.6	17.5	16.0	18.9	16.9	16.3
胸高直径 (cm)	29.4	46.2	31.8	47.0	23.5	33.5	38.8	35.5	33.5	33.0	60.5	59.5	40.5	21.0	61.5	31.5	26.0	50.0	27.5	46.5
樹勢																				3
樹形																				4
枝の生長量																				
梢端の枯損																				3
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				1
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 19: 地際の腐れ部分から倒伏, 樹冠部分は平成26年と変化なし

備考

表E: 樹木衰退調査結果(EANET方式)

地点名: 屋久国立公園(屋久島1)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林9林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成27年10月2日

機関名: 一般財団法人鹿児島県環境技術協会

報告者名: 溝口信彦

個体番号 (毎木調査番号)	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3	W4	W5	S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5
方位(E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名(和名)	スギ																			
樹種名(学名)	<i>CryptomERIA japonica</i>																			
相対的樹高		+			+	-	-			-						+	+	+	+	+
樹高(m)	28	29	23	27	29	20	19	20	14	20	20	20	18	18	18	17	26	24	24	28
胸高直径(cm)	135.2	100.0	98.0	69.7	80.5	58.0	98.0	65.0	39.0	59.0	72.0	67.3	54.0	69.0	52.5	63.0	114.0	57.5	114.0	79.5
樹勢					1		1		1	1	2	1	2		1	2				
樹形						1	1		1	1	2	1	2			2	1			1
枝の生長量					1		1		1	1	2		2		1	2				
梢端の枯損					1	1	1		1	1	2		2		1	2	1			1
落葉率							1			1	2		2			2				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色					1		1				1	1	1		1					
葉の障害状況																				
ダメージクラス							1				2		2							

樹木衰退の原因推定

- E5, W2: 落葉や梢端枯損が見られる, 原因は不明
- W4: 土壌の流出により根が浮いている
- W5, N1: 下部の皮が剥がれており枯れ枝や落葉が多い, 原因は不明
- S1: 根際の辺材部が大きく腐朽している
- S2: 隣接するスギに被圧されている
- S3: シカの樹皮剥ぎが顕著である
- W1, S5, N2, N5: 梢端の枯損や一部の葉の変色は見られるが, 衰退はしていないと考えられる

備考

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 屋久国立公園(屋久島2)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林3林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成27年10月19, 21日

機関名: 一般財団法人鹿児島県環境技術協会

報告者名: 溝口信彦

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3	W4	W5	S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)				3-37	3-40	2-10			3-17	3-14			3-25			2-7			3-5	
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	サカキツツジ	ヒサカキ	ヤマツツジ	ツカキ	サカキ	サカキ	タイミンタチバナ	ノシノシノキ	ヤマツツジ	サカキ	ツカキ	サカキ	ヤマツツジ	ノシノシノキ	タイミンタチバナ	タイミンタチバナ	ヒサカキ	サカキ	シイモチ	ヤマツツジ
樹種名 (学名)	<i>Rhododendron lasiitroi</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Schefflera octophylla</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Mysticine seguinii</i>	<i>Actinodaphne longifolia</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Schefflera octophylla</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Lithocarpus edulis</i>	<i>Mysticine seguinii</i>	<i>Mysticine seguinii</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Ilex buergeri</i>	<i>Camellia japonica</i>
相対的樹高	-		-			-					Dead	-				-	-		+	-
樹高 (m)	7	9	7	11	11	8	8	10	11	12		9	10	11	10	8	8	10	16	7
胸高直径 (cm)	11.6	12.4	12.4	34.6	24.9	17.1	24.9	16.5	25.3	28.3		11.7	20.6	20.7	16.8	13.6	8.6	14.2	59.7	8.8
樹勢				1							H27年調査で枯死を確認								2	
樹形				1												1			1	
枝の生長量				1															1	
梢端の枯損				1															2	
落葉率				1															1	
葉の変形度																				
葉の大きさ				1																
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

枯死前年の樹高 (m)											10									
直径 (cm)											17.7									
調査年度											H26									

樹木衰退の原因推定 E4: サカキカズラに被圧されて林冠部の枯損が目立つ  
 S1: 枯死して辺材部は一部不朽, 枯死の原因は不明  
 N4: 各種ツル植物に被圧されて林冠部や梢端の枯損が目立つ

備考 網掛け部は枯死が確認された観察木を示す  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 伊自良

所在地: 岐阜県山県市長滝釜ヶ谷27-2

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成27年11月25日

機関名: 岐阜県森林研究所森林環境部

報告者名: 田中伸治

個体番号	1	2	3-2	4	5-2	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)			53		6	120	119	118		80					94	69	70			
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	スギ	ヒノキ												
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																	
相対的樹高				-			+						-		+					
樹高 (m)	14.3	13.3	15.2	12.2	15.5	16.4	17.2	16.5	16.1	15.2	15.9	14.7	14.8	17.0	16.2	12.5	14.7	12.1	12.8	13.0
胸高直径 (cm)	20.8	16.0	18.0	15.0	17.6	24.2	27.0	22.3	17.7	19.2	15.2	16.3	16.2	20.9	19.1	22.0	17.3	11.4	12.1	18.3
樹勢																				
樹形		1		1	1			1		1	1	1	1	1	1		1	1	1	1
枝の生長量																				
梢端の枯損	1			1						1		1								
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 2, 4, 5-2, 8, 10, 11, 12, 14, 15, 17: 幹曲がり  
 13: 幹曲がりおよび二又  
 18, 19: 周囲木からの被圧および幹曲がり  
 20: 周囲木からの被圧, 幹曲がりおよび二又

備考 3-2: 間伐により伐採→調査木変更(平成22年)  
 5-2: 枯死により調査木変更(平成22年)

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 大和

所在地: 岐阜県郡上市大和町古道足代山1270-1

土壌種名: 黒ボク土

調査実施日: 平成27年11月24日

機関名: 岐阜県森林研究所森林環境部

報告者名: 田中伸治

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11-2	12-2	13-2	14-2	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	22	21	9	10	23	46	47	45	42	7	34	13	6	38	37	30	29	11	12	31
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ヒノキ																			
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																			
相対的樹高											-									
樹高 (m)	30.0	28.4	30.7	28.7	28.2	31.8	28.4	30.2	30.1	28.6	26.1	30.0	29.0	28.7	28.7	29.3	27.6	29.7	30.4	24.6
胸高直径 (cm)	39.1	39.1	43.5	43.7	42.2	44.9	38.5	37.0	41.7	39.4	34.4	44.5	45.6	35.2	42.5	32.7	34.5	44.6	40.4	34.4
樹勢																				1
樹形								1								1	1			1
枝の生長量																				
梢端の枯損			1	1			1	1	1		1		1							
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 8, 16, 17, 20: 幹曲がり

備考  
 11-2: 幹折れ→調査木変更 (平成23年)  
 12-2: 幹曲がり→調査木変更 (平成23年)  
 13-2: 周辺木からの過去の被圧の影響→調査木変更 (平成23年)  
 14-2: 雪害による幹折れ→調査木変更 (平成22年)

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 蟠竜湖2

所在地: 島根県益田市高津町 蟠竜湖県立自然公園特別地域内

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 平成27年9月30日

機関名: しまね樹木医会

報告者名: 柳井良仁

個体番号	1	2	3	4	5	6	8	9	10	12	13	14
(毎木調査番号)	72	82	76	63	64	65	83	34	35	8	9	80
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	E	E	E	N	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	スダジイ	タブノキ	クロキ	タブノキ	エゴノキ	タブノキ	コナラ	タブノキ	タブノキ	クロキ	クロキ	モチノキ
樹種名 (学名)	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Symplocos lucida</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Syrax japonicus</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Symplocos lucida</i>	<i>Symplocos lucida</i>	<i>Ilex integra</i>
相対的樹高	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
樹高 (m)	14.0	14.8	13.8	12.9	11.0	14.7	13.7	16.4	14.7	14.7	16.7	14.5
胸高直径 (cm)	28.8	28.8	12.5	29.0	16.1	23.5	23.9	25.7	21.8	16.7	21.6	34.5
樹勢					2							
樹形												
枝の生長量					2							
梢端の枯損					2							
落葉率												
葉の変形度												
葉の大きさ												
葉色												
葉の障害状況												
ダメージクラス												

樹木衰退の原因推定 8: プナ科樹木萎凋病(カシノナガキクイムシ・ナラ菌の加害は復旧)

備考

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 石見臨空FP

所在地: 島根県益田市虫追町 石見臨空ファクトリーパーク周辺

土壌種名: 赤色土

調査実施日: 平成27年9月30日

機関名: しまね樹木医会

報告者名: 柳井良仁

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	13	14	15	16	17
(毎木調査番号)	92	93	122	100	104	108	127	128	63	138	112	113	114	142	141
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	タブノキ	タブノキ	タブノキ	コナラ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	タブノキ	タブノキ	タブノキ	タブノキ	タブノキ
樹種名 (学名)	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Ilex micrococca</i>	<i>Quercus serrata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>	<i>Castanea crenata</i>	<i>Machilus Thunbergii</i>					
相対的樹高			+		+					-					-
樹高 (m)	15.9	16.3	18.6	18.5	17.8	17.3	18.4	18.4	18.4	13.0	18.9	20.0	15.7	12.8	14.9
胸高直径 (cm)	25.5	29.8	29.8	31.7	29.5	26.8	32.2	37.4	33.8	26.0	23.0	22.5	30.0	35.8	27.5
樹勢															3
樹形					1	1			1						3
枝の生長量					1	1			1						3
梢端の枯損					1	1			1						3
落葉率															2
葉の変形度															
葉の大きさ															
葉色															2
葉の障害状況															2
ダメージクラス															3

樹木衰退の原因推定 100, 137, 140, 142: ブナ科樹木萎凋病 (カシノナガキイムシ・ナラ菌の加害は復旧)  
127, 128: カシノナガキイムシの穿入孔あり (衰退等は見られず)

備考